



活動場所	①主に南区内の高齢者施設 ②主に南区内の小・中学校 ③わんわん防犯パトロール ④その他各種イベント参加
活動日時	①年間スケジュールに沿って活動 (年25回程度の活動の活動)
代表者	荒牧健夫
e-mail	aramanuku1998@yahoo.co.jp
ボランティア人数	メンバー35名 パートナー犬25頭・猫3匹 (2024年10月現在)

活動内容・活動暦

1998年度より、南福祉保健センター及び南区獣医師会と協力し、南区を中心に活動を行っています。
動物とのふれあいを通じて、高齢者・子供たちに動物の温かさを感じていただくことを目的として活動を進めてまいりました。また、飼い主のマナーアップにも力を入れており、南区内の各種イベントにも参加・協力しています。クラブ主催のしつけ教室や訓練会も積極的に企画して、メンバーの懇親・スキルアップにも努力しています。



利用者の声

- 特別養護老人ホーム入居者より
かわいい犬や猫を抱けて、とてもうれしかった。昔飼っていたペットを思い出して、楽しい話ことができました。
- ふれあい教室後の中学生より
動物を飼う大変さを知って、かわいがるだけではいけないのだと思いました。大人になって、きちんと世話ができるようになったら、いつか犬を飼いたいです。
- 小学生より
みんなおとなしくてこわくなかったから、初めてさわられてうれしかったです。

活動についてのT & D (ボランティアメンバーの声)

Q. 活動を行う中で大変だと思うことは？楽しいと感じることは？

A. 自分のペットといっしょにボランティア活動ができるのは、大変ですがとても楽しいです。施設の方々に、「また来てね」と言われるのは、やっていてうれしいと感じる瞬間です。

Q. 活動をはじめて良かったことは？

A. 普通のペットとして飼うだけでなく、共に活動することで、愛犬、愛猫との絆が深まったと思います。

Q. 活動をしているメンバーはどんな方達？

A. ペットとその飼い主として、普通に暮らす方々が参加しています。基本的なしつけと動物の適性を見るための適性判定会への参加が必要となります。



ある日のふれあい活動例

(活動前日)

明日は老人ホームでのふれあい活動です。

パートナー動物のシャンプーとブラッシングをして、身支度を整えておきます。

(活動当日)

46⇒3 車に乗っていざ施設へ出発

46⇒48 施設到着。決められた場所でトイレを済ませます

46⇒63 控え室へ入場。当日の注意事項の確認など、打合せをしながら、パートナー動物を落ち着かせます。

47⇒33 活動開始です。施設入居者の皆さんの輪を順にまわってふれあいを楽しんでいただきながら、楽しい時を過ごします。途中で動物たちの芸を披露したり、みんなで歌唱を楽しんだりします。

47⇒63 ふれあい終了。控え室に戻って休憩しながら反省会。

ぜひ利用してみたい。
手続き・準備はどうすればいい？

(施設・学校で活動導入を希望されるとき)
事前に活動説明をしてから契約を行ない、訪問することになります。まずは、南区区ボランティアセンターへお問い合わせください。

ボランティア活動を一緒にしてみたい。
どうすればいい？

適性判定会(年2回、春・秋開催)の受験及び事前にペットの健康診断が必要となります。詳しくはitaprosachie@gmail.com
にお問い合わせください。